

令和3年度第1回焼津市文化振興計画 推進委員会 会議録		開催	日時 令和3年8月3日(火) 午後3時30分～4時19分
			場所 焼津小泉八雲記念館多目的室
次第	1 開会 2 挨拶 3 出席者紹介 4 会長、副会長の選出 5 会長挨拶 6 報告事項 ・焼津市文化振興計画アクションプログラム推進状況 令和2年度実績報告 ・令和3年度第1回焼津市文化振興計画庁内推進会議(書面会議) 報告 7 その他 8 閉会		
出席者 委員 7人 事務局 3人 合計 10人	二木秀幸委員、増田充邦委員、松田敏孝委員、佐藤秀夫委員、青木直子委員、 川口円子委員、岩石ちさと委員 事務局(山本課長、池ヶ谷係長、山田主査)		
内容	1 開会 2 挨拶 3 出席者紹介 (吉永律子委員は欠席) 4 会長、副会長の選出 二木秀幸委員を会長に選任、全員同意し、承認 川口円子委員を副会長に選任、全員同意し、承認 5 会長挨拶 6 報告事項 (1)各種報告 事務局より資料に基づき説明 (2)各委員からの意見(情報交換) ○二木秀幸会長(静岡福祉大学) 資料を見ると、ほとんど中止となっており、それは仕方がないことだと思う。 しかし来年になれば急転するわけではなく、じわりじわりと進めていくことにな るのではないだろうか。どうすればやれるのか、といった方向に持っていくこと が大事ではないかと思う。 ○岩石ちさと委員(焼津市校長会) 新型コロナウイルスを理由として、学校行事も少なくなり非常に寂しい思いでは あるが、可能な範囲で対応している。 「学校等と連携した子どもたちの文化活動の充実」について、児童・生徒人数 が多いことを理由に難しい状況ではあるが、色々な文化事業があることを子ども 達と共有することが大切であると感じる。 文化会館について、ガイドラインを明確に示しており、学校側もガイドライン に沿って行事計画することが可能であり、助かっている。 一番懸念すべきことは、イベントが無くなってしまうことが当たり前にならな いよう、周囲の支えなど雰囲気作りが大切である。 ○川口円子副会長(焼津市文化財保護審議会) 文化財及び伝統行事の関係についても、新型コロナウイルスを理由として中止		

となってしまう案件が多々ある。一部においてはコロナで行事が中止になることについて幸いに思う者もいるようだが、コロナ禍においても、どのように行事開催をすべきか検討することが非常に重要であり、文化振興のためにも行事開催における支援に踏み込んでいただきたい。

小学生が配信にて演劇鑑賞をすることができたと聞き、非常に良かったと思う。例えば、小学6年生が経験する恒例行事が中止となってしまった場合、児童らは行事を経験せずに寂しい思いをさせてしまうため、映像配信にて代用が可能なものについては、同様な対応をお願いしたい。

○青木直子委員(焼津市音楽連盟)

コロナ禍において、コーラスは非常に大きなダメージを受けており、1年以上もの期間、練習が思うように実施できていない状況。また、県内にて予定されていた全国大会等についても県警戒レベル5を理由として中止となってしまった。

映像配信による大会開催の工夫も見受けられるが、配信技術についていけない高齢者等もいるため、そのような人たちのどのように支援すべきか検討する必要がある。

現在オリンピックが開催されているが、どの選手も小さな頃から練習を積み重ねてきたことがうかがえる。芸術についても、小さな頃から育むことが大切であり、

学校及び家庭での教育が非常に重要なのではないかと。

○佐藤秀夫委員(焼津市文化連盟)

主な事業として、例年10・11月に市民文化祭を開催している。昨年の文化祭では全22部門中、コロナ禍を理由として11部門の実施に留まった。部門によっては、例年通りに実施可能な部門もあれば、縮小を余儀なくされた部門もあった。今年は昨年度の実績を基にやれることはやる、という方針で対応したいと考えている。昨今、全国的に感染者が増加している不安な状況下ではあるため、中止を検討する部門も見受けられるが、中止を理由に準備をすべてやめてしまうのではなく、次回開催時に向けての準備をすることが大切であると考えている。

若者が芸術文化に触れる機会が十分でなく、身近なものと感じられにくい状況であるため、少しでも芸術文化に触れる場の提供として、市が開催する体験会に講師として協力している。

学校へ出向き、文化連盟の会員が講師となって講座を開く出前講座についても実施しているが、コロナ禍を理由として対応が難しい状況である。

○松田敏孝委員(焼津商工会議所)

以前、ディスカバリーパークにて開催された、焼津市出身の二胡奏者・鈴木裕子氏のプラネタリウム音楽会を鑑賞した。360度に映し出される映像は非常に素晴らしく、他の演奏会等にも活用できるのではないかと。新型コロナウイルスを理由として、鈴木氏の音楽会は幾度も公演中止となり大変な思いをしたようであり、地元の芸術・演奏家を応援するような場の提供ができれば良い、と感じた。

また、焼津文化会館にてクラシック演奏会を鑑賞したが、内容は非常に素晴らしかったにも関わらず、コロナ禍のせいか鑑賞者が非常に少なく感じた。実際にホール演奏とCDで聴く音とは全然迫り方も違うため、費用が掛かる話ではあるが、小中学生に鑑賞の機会を提供できないものか。

○増田充邦委員(一般社団法人焼津市観光協会)

全国から様々な方を招き入れ、焼津市の産業活発化を図りたいところではあるが、コロナ禍を理由に難しい状況が続いている。

昨年、子供から大人まで大人気であった水陸両用バス「カババス」乗車会や駿河湾を回遊する「焼津漁船クルーズ」を実施。参加対象を全国ではなく静岡県内としたところ、ほとんどの参加者は焼津市民であった。アンケート結果では、焼

	<p>津の良さを再発見した、との意見が非常に多く評判が良かった。本イベントは、焼津の水産業が抱える担い手が少ない等の問題を少しでも解消すべく、焼津の産業の良さ及び魅力について、将来を背負うこととなる子ども達に感じて貰うことを目的として実施したものである。</p> <p>今後もコロナ対策を講じながら、焼津の文化・歴史を子ども達に伝えるべく、様々なイベントへの取り組みを実施したい。</p> <p>7 その他</p> <p>(1)今後の予定について 今年度の推進状況の報告については、年明け1～2月頃、書面にて行う予定。</p> <p>(2)会議録について 本日の会議録については事務局にて作成後、正副会長に確認をしていただいたうえ、公開を予定。</p> <p>8 閉会</p>
<p>作成年月日 令和3年8月3日 作成者 文化振興課 市民文化担当 山田</p>	